



エリクソン、EDB Postgres を 統合してパフォーマンスを向上

エリクソンは、世界最大かつ最も複雑なビデオプラットフォームで、世界で最も強力なコンテンツブランドを、24 時間体制で消費者にパーソナライズされた高品質なプログラムを提供しています。エリクソンの製品、サービス、技術力により、ケーブルテレビ、衛星放送、電気通信事業者の放送事業者、コンテンツ製作者、コンテンツプロバイダーがネットワークの TV 化を加速させています。

エリクソンの予想では、メディアと通信の融合により、2020 年までに世界中で 260 億台のデバイスが接続し、エンターテインメントとこれらの接続により新しい時代を迎えると予測しています。エリクソンは、テレビやメディア産業の変容に合わせ、世界中のサービスプロバイダーと提携、エリクソン独自の調査、エンドツーエンドのポートフォリオとトランスフォーメーションサービスを組み合わせることによって、この変革を推進しています。

エリクソンの TV & Media ポートフォリオの重要な要素であるコンテンツマネジメントシステム (CMS) は、マルチスクリーンおよびマルチプラットフォーム駆動のメディアバリューチェーン対応のコンテンツ作成・配信と関連課題に取り組んでいます。

エリクソン CMS は、コンテンツ所有者、コンテンツアグリゲータ、放送局、有料テレビ事業者など、テレビ業界向けのコンテンツ運用のエンドツーエンド管理のための包括的なプラットフォームです。増加するボリュームとパフォーマンスの要求に対応するため、同社はデータベースシステムを含むシステムの再構築方法を検討しました。このプロジェクトでは、従来のデータベースシステムを EDB Postgres™ Advanced Server (EDB™) に置き換え、スケーラビリティを確保し、パフォーマンスを向上させ、運用コストを削減しました。

EDB Postgres を使用して、エリクソンはその目標を達成しました。2014 年に完成した新システムは、同時に複数の顧客のコンテンツ処理を計画できます。エリクソンのタイトル取得率は 1 分あたり 5 タイトルから 11 タイトルに増加しており、100%以上の増加となっています。

■ 課題

オンデマンドデジタルメディアの普及が広がっています。エリクソンの顧客がエンドユーザーに高品質のコンテンツを提供しようと努力する結果、エリクソンのコンテンツ管理グループ内の IT システムに対する負荷が高まっていました。ますます増え続けるコンテンツをサポートし、迅速に処理する必要があり、同社のレガシーデータベースシステムでは対応できませんでした。

計画段階では、チームは環境をアップグレードする必要があると判断し、顧客のトランザクション負荷を増加させるために既存のシステムを改善する必要性がありました。しかしチームは、環境の容量を増やし、より多くのトランザクションをサポートすると、レガシーシステムのライセンス料金とメンテナンスコストのためにコストが高くなるという課題に直面しました。

■ データベース互換性を備えたソリューション

大規模な IT アーキテクチャの見直しの一環として、チームは従来のデータベースシステムを EDB Postgres に移行することを選択しました。これにより、必要なスケーラビリティ、効率性、パフォーマンスを低コストで実現することができました。

EDB Postgres には、レガシーシステムからの移行をサポートするデータベース互換技術がありました。エリクソンは、同等の組織で実証済みの性能とレガシーシステムとのデータベース互換性を評価し、EDB Postgres を選択しました。EDB Postgres へのデータベースの移行がよりスムーズに行われ、既存のスキルとツールも引き続き使用することができました。

Linux 環境に配備されたこの新システムは、1,100 万件のタイトルと 300 万件の作業オーダーをサポートしています。

エリクソンのプロダクトマネージャー、ウラジミール・ヤコバック (Vladimir Jakobac) は次のように述べています。「顧客に課されるコンテンツ管理の要求は増加しており、以前のインフラの処理能力では対応できませんでした。

EDB Postgres は、お客様に比類のない結果を提供するために、必要なパフォーマンスとデータ管理機能を、非常に低コストで実現しました。」

エリクソンは、高性能でスケーラブルかつ低コストのプラットフォームを構築し、顧客のデジタルコンテンツへの要求を満たすことができました。その中核は EDB のオープンソースベースの Postgres です。

エリクソンのデータベース管理者である Suresh Neravati は、次のように述べています。「システム再構築を計画する際、NoSQL とドキュメントストアプラットフォームをオプションとして検討しましたが、どちらもデータベースの互換性を保つためには、アプリケーションのリファクタリングが必要でした。EDB Postgres のリレーショナルデータベース技術は、われわれのシステムを最適に運用するために必要な非構造化データや半構造化データを処理するための自由度、柔軟性、パフォーマンスを提供してくれました。」

■ 未来のための基礎

新システムのおかげで、エリクソンのコンテンツ管理システムは、顧客とのコンテンツを共有するために必要な、迅速なタイトル取得と処理速度を提供するという目的を達成しました。エリクソンの EDB Postgres 導入により、高価なレガシーシステムから移行し、高いライセンス料を払うことなく、同社はより持続可能で長期的な運用モデルを確立し、顧客と一緒に成長できるようになりました。

[出典：米国 EDB 公式ホームページ]